

# 大館市の未来を創る会

## ふもと幸子通信

第8号 2024年7月発行

## 取り戻そう! 市政を!

上から目線ではなく、市民と同じ目線に立ち、  
市民の声に耳を傾け、市民の課題を解決し、住みよい魅力的なまちへ

福原市政の9年間を振り返ると、市民の声が届かない市政であったと思います。市民が望むものは「予算がない」と切り捨てられ、逆に市民が望んでいないものには巨額の予算を投じる、その政治姿勢に大きな疑問を感じます。1回150円からと安価な値段で利用でき、年間4万人もの利用者があった四十八滝温泉は、この3月に廃止になりました。2020年には花岡温泉も廃止されました。どちらも署名活動が起こり、市民から存続を望む声があったにも関わらずです。その一方で五色湖エリアに予定されている1泊数万円もする豪華なキャンプ事業には、巨額のお金が投じられています。2020年度時点では事業費約2億5000万円だったものが、約9億5000万円まで膨れ上がっています(秋田魁新報・7月15日)。市民は豪華なキャンプ場など望んでいません。安価に利用でき、心身ともに健康になれる温泉のような施設こそ望んでいるのです。

福原市政の9年間で人口は約8000人以上減り、現在約6万6000人となりました。若い人たち、特に女性の流出が止まりませんが、その対策が

できていません。1年間に生まれる赤ちゃんは約220人まで減ってしまいました。このままでは消滅可能性都市という言葉も現実味を帯びてきます。

人口減少・少子高齢の中でもそれを解決しているまちには共通項があります。①市長と市民の距離が近い。②市民の課題は何かと市長が常に関心を持つ。③市民の課題解決に行政が一丸となってあたる。だからこそ住みよい魅力的なまちができ、人がUターンや移住し、定着するのです。

上から目線の政治ではなく、市民の目線に立ち、予算を抜本的に見直し、無駄を排除し、財源をつくる。その財源を市民の方のお困りごとの解決に使う。それこそが政治ではないでしょうか。

市民の声が届かない福原市政の継承ではなく、刷新こそが必要です。今こそ市民の皆さまとご一緒によりよい大館をつくりたいと思います。市政を市民の手に取り戻しましょう!

### ふもと幸子の基本姿勢

政党や企業のしがらみのないふもとだからできます。  
育児や介護をしてきたふもとだからわかります。

- ① 市民の目線で、市の予算を徹底して抜本的に見直します。
- ② 市民との直接対話を重視、市民の声が届く市政にします。
- ③ 市民の財産・生命・暮らし・生業を守ります。

### ふもと幸子 プロフィール

1962年大館市生まれ。誕生当時、祖父・勇吉は初代比内町町長を務めており、父・淳二は火薬販売業とりんご農家を営む。1968年大館市立扇田小学校入学。当時の愛称は「フモヨン」。1974年大館市立比内中学校に入学。陸上部に所属。1977年秋田県立大館鳳鳴高校に入学。新聞部に所属。1980年筑波大学入学。フランス哲学専攻。1984年日経BP社入社。日経ウーマン創刊メンバーとなる。2007年日経ウーマン編集長に就任。2014年法政大学大学院経営学研究科修了。文部科学省、内閣府、林野庁などの有識者委員を歴任。2016年日経BP社執行役員。2019年故郷に貢献したいという思いで帰郷を決意。共生社会づくりの拠点として比内ヒルズ(扇田・長岡城跡)での活動スタート。高齢者や障がい者支援事業、6次化事業などに参画する。この5月まで大館商工会議所女性会副会長を務めた。『地方を変える女性たち』『イマドキ女性管理職の働き方』など著書多数。家族は夫、母、独立した子ども2人。孫3人。

### 現在の主な肩書

社会福祉士  
作家・ジャーナリスト  
大館市障害者施策推進審議会委員  
大館市立扇田小学校同窓会会長  
比内町芸術文化協会副会長  
秋田県手をつなぐ育成会副会長

# ふもと幸子の公約

## 「教育・子ども」

**教育無償化を実現し子育てしやすいまちにします。**

教育こそが大館の未来をつくります。  
教育を無償化し市民の経済的負担を軽減します。

- ・0歳から15歳まで、教育費(学校給食費等)を無償にします。
- ・デジタル塾を開講し、子どもたちの学力と進学率アップを促進します。
- ・学び直し(リスキリング)促進、資格取得、賃金向上を支援します。
- ・農林業者、商工業者のデジタル技術習得を支援します。
- ・通信・ネット教育による学士・修士取得を支援します。

## 「若者」

**若者が戻る「ただいま」のまちにします。**

就職や進学で18歳で大館を離れたとしても  
28歳までにUターンするまちにします。

- ・進学資金の給付型助成を拡大及びUターン就職を支援します。
- ・大館出身者をデジタルで名簿化、地元の最新情報を届けます。
- ・空き家を活用した住居取得を支援し、Uターンを促進します。
- ・新規就農や起業・開業・創業を支援、新たな働き方を促進します。
- ・新規移住者対象に助成を充実させ、定住化を促進します。

## 「女性」

**差別をなくし、日本一女性が活躍するまちにします。**

若い女性の流出が人口減少の原因。  
女性がいきいきと暮らせるまちをつくります。

- ・いまだに残る男尊女卑の風土を改めます。
- ・市役所に女性部を設置。女性の課題をワンストップで解決します。
- ・パワハラ・セクハラを根絶。誰でも働きやすい職場をつくります。
- ・女性の育児離職・介護離職をゼロにします。
- ・市の女性管理職比率を3割以上にします。

## 「高齢者」

**認知症ゼロ、寝たきりゼロ、健康長寿のまちにします。**

地域医療の充実と社会福祉の向上で、  
高齢者を見守り支える、安心・安全のまちをつくります。

- ・市民健診率100%実現で病気を徹底的に予防します。
- ・食生活改善、健康増進で認知症・寝たきりゼロを目指します。
- ・地域医療を充実させ福祉と連携し、切れ目のない支援体制をつくります。
- ・見守り支える町内会を支援するため、市役所に担当窓口を設けます。
- ・成年後見制度など、高齢者の権利を守る支援事業を拡充します。

## 「産業」

**産業振興で稼ぐまちにします。**

あらゆる方法で働き手を増やし、産業の発展・継続を支援します。  
地域の雇用を生む中小・中堅事業者を支えます。

- ・農林業の機械化・デジタル化を促進し、生産性と収益向上を図ります。
- ・潜在ナースなど眠れる人財が復職できる仕組みをつくります。
- ・外国人労働者を積極的に受け入れる支援体制をつくります。
- ・魅力ある直売所構築やネット販売で売上増を支援します。
- ・再生可能エネルギーの蓄電拠点を創出し、脱炭素化を促進します。

## 「まちづくり」

**にぎわいのある魅力的なまちにします。**

まちの中心部を開発し市民の利便性を高め、  
全国から人が集うにぎわい稼ぐまちにします。

- ・総事業費100億円、全国から100万人が集う魅力的な都市型エリアをつくります。
- ・イベント事業の連携強化、情報発信強化で観光人口倍増を図ります。
- ・研究所、シンクタンク、データセンター等新たな企業を誘致します。
- ・ライドシェアなど新たな交通の仕組みで、市民の移動を確保します。
- ・あらゆる催事情報がスマホで取れる情報プラットフォームをつくります。

「集会でふもとと直接お話ししませんか?/  
皆様の声に耳を傾けます!!」

「お誘いあわせの上ご参加ください!  
赤ちゃん・お子様連れ大歓迎!」

開催日	曜日	会場	時間	開催日	曜日	会場	時間
8月2日	金	長木公民館	17時～18時	8月16日	金	北地区コミセン(女性のみ)	14時～15時
8月3日	土	二井田公民館	10時～11時			田代公民館	18時～19時
		矢立公民館	15時～16時	十二所公民館	10時～11時		
		花岡公民館	18時～19時	下川沿公民館	15時～16時		
8月4日	日	比内公民館	10時～11時	上川沿公民館	18時～19時		
		比内公民館東館分館	15時～16時	中央公民館	10時～11時		
		比内公民館西館分館 (構造改善センター)	18時～19時	釈迦内公民館	15時～16時		
8月9日	金	比内公民館大葛分館	18時～19時	北地区コミセン	18時～19時		
8月14日	水	中央公民館(女性のみ)	10時～11時	8月21日	水	ほくしか鹿鳴ホール	18時～19時

※予約申し込み不要・無料。予定は変更される場合があります。



**ふもと幸子後援会にご入会ください!**

ご入会ご希望の方は、下記へご連絡ください。WEBサイトからもご入会手続きが可能です。

**ふもと幸子と秋田おばこの会(後援会)**

〒017-0828 秋田県大館市向町27(旧阿部写真館)

TEL 0186-59-9465 FAX 0186-59-9475 携帯 090-1373-0460(事務局)

メール fumosachi@gmail.com WEBサイト fumotosachiko.com



Webサイト



メール



Facebook



YouTube

ふもと幸子の  
WEB情報

